

意見広告 世界が憧れるまち “小田原”

公共施設包括管理

12月5日の小田原市議会で、小田原市が進める公共施設包括管理マネジメント事業を中止する旨の報告がありました。このことは施設管理のみならず、今後の小田原市の行政運営に大きな支障を及ぼします。

守屋てるひこ 市の信用を落とすことになっ
ていないか心配です。民間の力を活かすための大きな反省材料とすべきです。

経験から、包括管理の必要性は十分理解しますが、これまで施設を管理してきた管理会社との意思疎通ができずに見切り発車したことが最大の失敗です。

建物には日常の適切な管理があつて、初めてその機能が発揮されます。新たにマネジメント業務を行う事業者はその点が引き継がなければ、この事業の実施はできません。これまで管理を行なってきた地元事業者は大手事業者の下請けで良いと考えたことが最大の判断ミスです。

このことは本事業のみならず市が実施する事業すべてにおいて言えま

公共施設包括管理委託業務は、多様化する施設管理において、民間のノウハウを活用し、施設機能維持やライフサイクルコスト削減を目指すものです。

私は県庁職員時代に県有施設長寿命化指針を作成し、全国自治体等FIM連絡会議代表幹事を務めるなど、専門的に研究し実践してきました。その

「世界が憧れるまち “小田原”」に向けた主要政策

- 人口増への挑戦、人口20万人を復活
- 企業誘致・創業支援による雇用創出と経済再生
- 教育環境・子育て支援の充実
- 安心して暮らせる医療福祉環境の充実と災害対策の強化
- 農林水産業とエネルギー・環境の融合



守屋てるひこ後援会

〒250-0042
小田原市荻窪317-1
イセトヨビル2階

☎ 0465-43-9918
☎ 0465-43-9917
✉ info@moriya-teruhiko.com
🌐 http://moriya-teruhiko.com



■プロフィール

1966年生まれ。芦子小・白山中・小田原高・東京電機大学・東京大学大学院卒。元神奈川県庁職員、前神奈川県議会議員。自民党小田原市連合支部支部長、東京大学大学院研究生、慶応義塾大学SFC研究所上席所員。